

第 81 回 火力専門委員会 材料分科会 議事録(案)

1. 日 時: 2016 年 5 月 19 日 (木) 13 時 30 分～16 時 50 分
2. 場 所: 日本機械学会 第 3・4 会議室
3. 出席者: 伊藤 (IHI)、西川(NIMS)、吉田 (東電)、木村 (NIMS)、齊藤 (中電)、
妹尾 (関電)、俣野 (KHI)、森 (新日鐵住金)、菊原 (MHPS 呉)、
長谷川(発電技検)

欠席 : なし

事務局: 原

4. 配付資料

- 81-1 第 80 回材料分科会議事録 (案)
- 81-2 材料分科会委員名簿
- 81-3 第 75 回火力専門委員会議事録 (案)
- 81-4 第 30 回材料専門委員会議事録 (案)
- 81-5 第 77 回発電用設備規格委員会議事録 (案)
- 81-6 審議履歴表
- 81-7-1 表Ⅱ-3-1 JIS 年度変更評価検討票(新日鉄住金)
- 81-7-2 表Ⅱ-2-2 (中部電力)
- 81-7-3 表Ⅱ-1-4 (MHPS 呉)
- 81-7-4 追補(2015 年)原稿確認結果 (東電)
- 81-7-5 本文、補遺 (川崎重工)
- 81-7-6 表Ⅱ-1-1 (IHI)

5. 議 事

(1) 前回議事録確認

【資料 81-1】

前回議事録 (案) について確認を行ない、議事録案は承認された。

修正箇所

- ・ 5) の一つ目の ○ ハブコメ → パブコメ
- ・ 5) の三つめの ○ 改正前 → 改正案

木村委員から、前回議事録について関連情報の紹介があった。

・ 高クロム鋼クリープデータ評価検討会がまとめた検討結果については、以前紹介したものに追加して、電中研屋口氏が火原協大会において発表の予定である。

・ 高クロム鋼のクリープ強度見直しについて、ASTM の改訂案がまとまりつつある。

①許容応力を下げずに最高使用温度を下げる案と②許容応力を引き下げる案があるが、後者の可能性が大である。

ASME はヨーロッパにもデータの提供を依頼しており、伊のテナリスがデータを提供
する見込み。

(2)分科会委員・役員の承認

【資料 81-2】

- ・俣野委員と森委員の再任を火力専門委員会に推薦することが、出席委員全員の賛成により承認された。

(3)報告事項

1)火力専門委員会報告

【資料 81-3】

3月1日開催の第75回火力専門委員会の主要項目が報告された。

- 三原委員長が、飯田副委員長、藤田幹事を指名した。
- 第80回材料分科会報告（審議状況等の報告）
- 審議結果報告
 - ・火力設備配管減肉管理技術規格（S TB1-2009）の改訂案の火専書面投票による修正案の審議・承認
 - ・発電用火力設備規格基本規定（2015年追補）公衆審査版からの変更に関する提案他2件の審議結果報告

2)材料専門委員会報告

【資料 81-4】

3月10日開催の第29回材料専門委員会の主要項目が報告された。

- 発電用設備規格委員会からの依頼による金属キャスク特有の材料（9鋼種）に関する許容値等の妥当性レビューについて
- SN材の許容値策定の状況について
- Su、Sy値策定のための手順書案（内規）の策定状況について
- 火力専門委員会からの検討依頼

3)発電用設備規格委員会(12/9開催)報告

【資料 81-5】

3月15日開催の第77回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(3/1開催)についての報告。
- ・発電用火力設備規格の追補案の審議
火力設備配管減肉管理技術規格（S TB1-2009）の改訂
発電用火力設備規格基本規定（2015年追補）公衆審査版からの変更

4) 発電用火力設備規格 基本規定、詳細規定(2015年追補)の発行

事務局から、発電用火力設備規格 基本規定と詳細規定(2015年追補)が発行・販売開始されたことが報告された。

(4)審議事項

1)表Ⅱ-1-1(JIS 鉄鋼材料)

【資料 81-7-6】

伊藤主査から許容引張応力表の改訂作業の方針について説明があり、この方針に沿って作業を進めることが確認された。

- ・SB450,SB480の斜体の箇所を確認する。
- ・JIS B8267の引用年版を2008から2015に変更する
- ・備考の番号はJIS B8267を基準とする。付番の説明は、技術的な変更に係らないもの

は、なるべく効率的で簡易な説明が望ましい。

2) 表Ⅱ-1-4

【資料 81-7-3】

菊原委員から説明があり、現時点の原稿案を確認した。

- ・ 高クロム鋼クリープデータ検討会の検討結果の評価がまとめれば、この結果を許容応力表に反映する。
- ・ 高クロム鋼の斜体の範囲を確認する。
- ・ P6 高クロム鋼の P 番号 … 5B→15E
- ・ 母材の区分のグループ番号については、溶接分科会と調整することがある。

3) 表Ⅱ-2-2

【資料 81-7-2】

齊藤委員から説明があり、原稿案の最終確認を行った。

- ・ 「材料現象に関する解説」→「SCB1-2014 発電用設備関連の材料事象に関する解説」
- ・ 備考 一般注釈(a)の略語の説明 cond. … 復水器はこのままとすることを確認した。

4) 表Ⅱ-3-1

【資料 81-7-1】

森委員が説明を行った。

- ・ JIS 年版変更評価票の評価対象、内容、変更の有無などの欄に記載すべき内容を、事務局が原子力専門委員会材料分科会に確認する。

5) 本文・補遺

【資料 81-7-5】

俣野委員から説明があり、以下について確認した。

- ・ 確認事項 … 許容応力の変更等を独自にできるよう、201X 年改訂版においても、J 火材は J を取らずに J 火材のままとする。
- ・ JIS B8267(2008) → JIS B8267(2015) 補遺 22, 補遺 27 ページ
- ・ 補遺 22 ページ(5) (a) 下の 3 行の文章を見直す。
- ・ 補遺 22 ページ(5) (c) のあと 高クロム鋼の見直しを反映した補遺 20 ページ(d) をアップデートしたものを記載する。
- ・ 補遺 27 ページ～ 14. の ASME 材の記載に過不足が無いことを各担当で確認しておく。

6) 追補原稿確認結果の反映について

【資料 81-7-4】

吉田委員から標記について説明があり、必要により改訂に反映することを確認した。

6. 次回開催予定

日 時 : 2016 年 8 月 8 日 (月) 13:30~17:00

場 所 : 日本機械学会 第 3,4 会議室